

25 高引火点危険物の火災危険性

全国の危険物施設において、引火点の高い第三石油類及び第四石油類で18%の火災を引き起こしています。

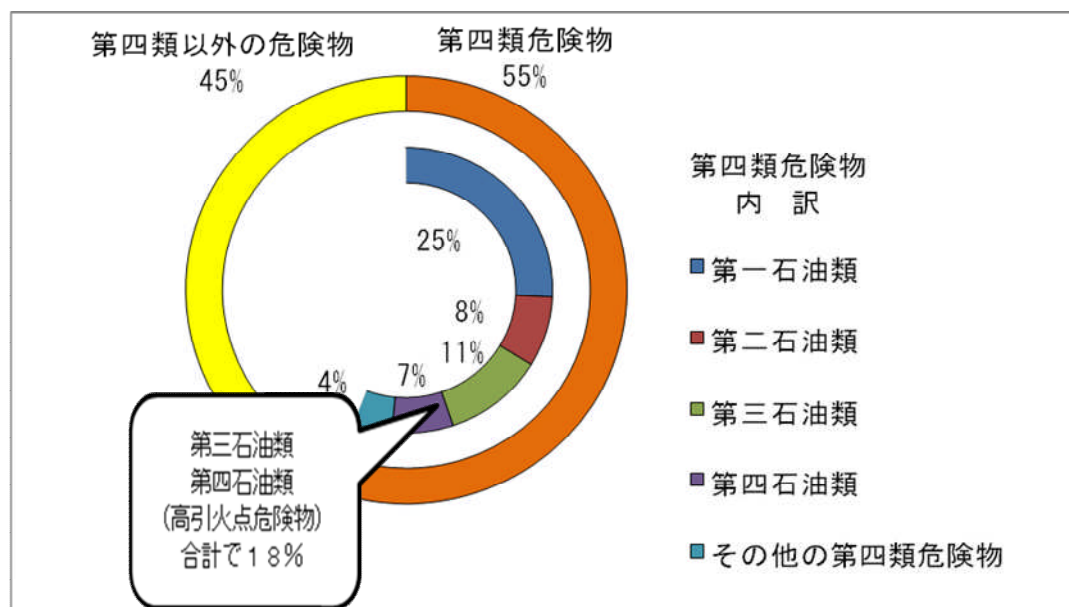


図 全国の危険物施設における火災の出火原因物質（H19）

1 高引火点危険物の性質

通常、重油（引火点60℃以上）や作動油といった高引火点危険物は、常温では燃焼しにくい危険物です。しかし、使用形態によっては燃焼しやすくなります。また、いったん着火すると消火が難しく、大規模な火災に結び付く可能性があります。高引火点危険物といえども、細心の注意をもって取り扱う必要があります。

2 燃焼しやすい使用形態

高引火点危険物の使用形態により、燃焼しやすくなります。

(1) 加熱使用

例：焼き入れ油など、引火点以上の高温で使用する場合。

(2) 灯芯（湿潤）効果※

例：施設内の塵芥やウエスにしみ込んだ状態。

※ ろうそくの芯のように、可燃物にしみ込ませると燃焼しやすくなる効果のこと。

(3) 噴霧漏えい

例：高圧状態で配管から漏えいする状態。

参考：危険物施設における事故事例と安全対策について（危険物保安技術協会）